

◆ セミナー開催のお知らせ ◆

**IoT時代のソフトウェア開発における重要ポイント**  
～IoTの特徴をとらえた開発と品質確保の勘所を紹介～  
**成功事例に学ぶシステムズエンジニアリング**

講師:(独)IPA 社会基盤センター

宮原 真次 氏 産業プラットフォーム部 調査役

中尾 昌善 氏 イノベーション推進部 エンジニアリンググループ リーダ

2018年7月12日

通信ネットワーク機器セキュリティ分科会

日時: 2018年8月27日(月)15:00-16:20

場所: CIAJ CDE 会議室

港区浜松町 2-2-12 JEI 浜松町ビル 3F

TEL 03-5403-9357

演題: (1) IoT時代のソフトウェア開発における重要ポイント

～IoTの特徴をとらえた開発と品質確保の勘所を紹介～

(2) 成功事例に学ぶシステムズエンジニアリング

講師: 独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 社会基盤センター

宮原 真次 氏 産業プラットフォーム部 調査役

中尾 昌善 氏 イノベーション推進部 エンジニアリンググループ リーダ

<CIAJ 会員限定セミナー>

8月26日までに web < <https://area11.smp.ne.jp/area/table/846/fGSkhc/M?S=pekc2rere> >よりお申し込み下さい。  
定員になり次第締め切りとなります。また、ご提供いただきました個人情報は、CIAJ からの各種ご案内等に利用させていただく場合がございますのでご了承下さい。



■ 講演概要

(1) IoT時代のソフトウェア開発における重要ポイント～IoTの特徴をとらえた開発と品質確保の勘所を紹介～  
IoT時代の本格的な到来により、これまで、つながらなかったモノがネットワークにつながることで、様々な新しいシステムやサービスが創生され、生産性や利便性が向上しています。一方、IoT時代だからこそ発生する新たな脅威やリスクがあるために、いままでとは違った視点での考慮が必要となっています。本講演では、IoT時代のソフトウェア開発や品質確保に関して考慮して頂きたい重要なポイントについて、ご紹介いたします。

(2) 成功事例に学ぶシステムズエンジニアリング

ビジネス構造の劇的な変化を秘めるIoT時代には、複雑で多分野にまたがるシステム開発が求められます。従来の開発方法論に囚われていると、その変化や要件に柔軟に対応出来ず、逆にビジネスリスクをもたらす危険さえあります。このパラダイムシフトに備えるための開発アプローチとしてシステムズエンジニアリングが有望視されており、その基本的事項を、事例を交えて解説します。

■ 講師紹介

宮原 真次 氏

富士通株式会社に大型汎用コンピュータやストレージ製品など各種 ICT 装置の設計検証業務に従事。2007年に株式会社富士通コンピュータテクノロジーズに出向(執行役員)し、ICT 関連装置の検証業務の事業化を推進。2010年に富士通株式会社に復帰し、クラウドサービス基盤の高信頼化と運用品質の構築支援業務に従事。2014年にIPAに入構し、IoT 機器・システムの高信頼化に関する調査・研究に従事し、現在に至る。

中尾 昌善 氏

1958年 京都府生まれ  
1982年 京都大学工学部大学院修士修了、同年電々公社入社。  
主にコンピュータ・システム関連の研究開発に従事。  
2009年 NTT 理事 主席研究員 を経て、退職。  
同年、旧 NTT ソフトウェア(株)、現 NTT テクノクロス(株)入社。  
2014年 現職。

以上